

まちづくりの主役は市民一人ひとりです。



きさらづ 市民ネットワーク通信

2017年新春号

NO. 74

市議会議員 田中のりこ

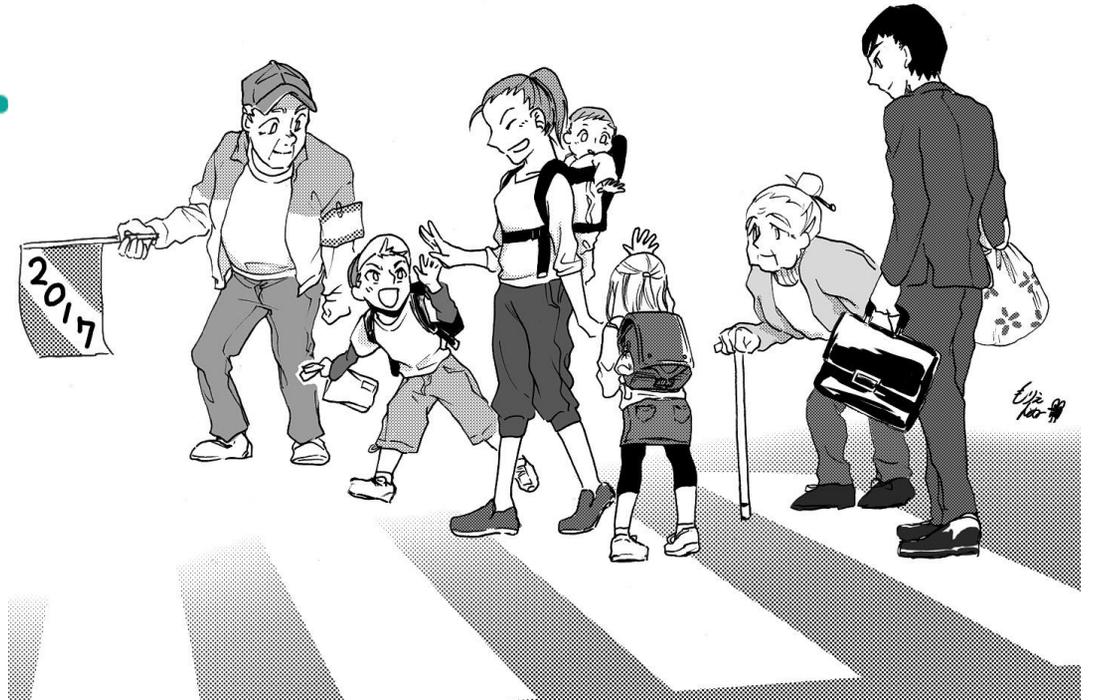
発行/きさらづ市民ネットワーク 発行責任者/田中紀子 事務所/木更津市八幡台 3-4-8 TEL・FAX: 0438-36-0677

ブログや Facebook に日々更新中

田中のりこと市民ネット 検索

市民の声から まちづくり

2 期目 2 年間で どこまでできたか! 中間点検



市民の代弁者 田中のりこが 2期目に掲げた目標		この2年間のおもな成果
1	保育の質の向上など 子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立保育園に空きがあっても、保育士が足りないため待機児童が発生。臨時保育士の処遇改善を求めた。→2016年度より、正規職員同様の勤務の臨時保育士に期末手当(ボーナス)が支給され、時給も上がった。 ● 学童保育や放課後等デイサービスでは、保護者評価を行い、保育の質の維持や向上に努めるよう求めた。 
2	子どもが安心して 学べる教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 一食当たりの給食費コストは、自校式給食が親子式給食や給食センターよりとても高い(裏面関連記事あり)。自校式給食をやめ、親子式給食か給食センターへの移行を求めた。 ● 児童生徒数の増加で今後、八幡台小では波岡中の給食を作れなくなる。児童生徒数の増減対応のため第二給食センター建設を求めた。→H29年度より八幡台小では第三中、波岡小では波岡中の給食を作ることに変更。第二給食センター建設も視野に入れ、市が計画案策定。 ● 不登校生徒の保護者が「相談難民」とならないよう、進路指導の進め方について質問した。 ● 非正規雇用の講師の研修参加状況を調べ、教育の質の向上と維持を求めた。
3	社会から 孤立しないための 生活弱者へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ● 木更津市のこどもの貧困の現状を調べ、「木更津市の子どもの貧困白書」を発行した。 ● 経済的困難を抱えているこどもの、学習支援のしくみの構築を求めた。→市は準備中。 ● 避難所(学校の体育館)のスロープ・トイレを調べ、早急な改修が必要と市長に要望書を提出。
4	在宅介護・在宅医療を しやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習会「知っ得! 在宅医療の話」開催。(講師 上総在宅診療所 看護師・介護支援専門員 松岡初美さん) ● 学習会「教えて! くすりの話」開催。かかりつけ薬局の必要性を学ぶ(関連記事 裏面)
5	生活に必要な 交通の便を確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共バスの乗車は、高齢者にとって困難な場面が多い。公共バスの運転手も「認知症サポーター養成講座」を受講するよう求めた。 
6	女性の視点で 財政をわかりやすく 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険税(国保税)の現状やしくみを調べ、資産割を廃止する際、子育て世代や低所得層にやさしい国保税の負担にするよう求めた。 ● 市民ネットワーク通信や議会速報で、予算や決算をわかりやすく掲載した。 
平和	基本はいのちと平和	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習会「教えて! オスプレイと日米地位協定」を開催。映画自主上映会「戦場ぬしみ」を開催。 ● 近代史を学ぶ「大人の学校」5回開催。(次回 H29.4.13 予定。八幡台公民館 14:00~)

きさらづ市民ネットワーク会員 年会費 1000 円です。随時募集中。

暮らしと政治をつなぐ 市民ネットワーク

余っている薬

450 億円

昨年 11 月 18 日、八幡台公民館で、「ここだけの話！教えてくすりの話」の学習会(講師 とみざわ薬局大和店の富沢道俊さん)を行いました。薬剤師さんの役割やかかりつけ薬局のメリットをわかりやすく説明され、質問にも答えていただきました。日本中で余っている薬はなんと 450 億円にもなり、この医療費削減を君津木更津薬剤師会薬業会ですすめていることを知りました。

「おくすり整理バック」をご存知ですか？



家に余っている薬や古い薬などを持参して相談できます。・常備薬がまだ残ってたまっている・古い湿布薬がまだ使えるか不安など、残った薬は、おくすり整理バックに入れて、薬剤師に渡してください。他の薬局の薬でも相談できます。おくすり整理バックを置いている薬局の薬剤師さんに気軽にご相談ください。(Y.T)



オスプレイ (MV-22) 整備基地化の「覚書」

米軍と防衛省と富士重工(株)の三者で覚書を取りかわした。木更津市は、このルール作りのテーブルにはつまずかず、文書で覚書を示すよう求めていた。1月23日市議会(基地対策特別委員会協議会)に、防衛省と防衛装備庁が覚書の説明にきた。この3者の覚書は「H24.9.19に、日・米の合同委員会で決めた覚書」と自衛隊の「木更津飛行場の運用規則」が基本になっている。このうち「木更津飛行場の運用規則」は、市の職員が自衛隊に許可を得て閲覧させてもらうほどの機密文書のようなのだ。

さて、覚書で決めたルールが守られているか、確認する必要がある。昨年9月末に、市議会では常時の騒音測定をするよう、防衛省に要望していたが、全然検討していないことがわかった。これでは市は騒音のクレームがあっても判断できない。課題が明確になった。(基地対策特別委員 田中紀子)
覚書…木更津市ホームページ参照

オスプレイ関連の連絡先
電話 23-7425
(企画部企画課)

イベント専用問合せ TEL070-2172-8480

●▲■ お知らせ伝言板 ●▲■

ぷらっとホーム いざという時に備えて知っ得

2/2 (木) 13:30~15:00 無料

講師 南部包括支援センター職員

場所 きさらづ市民ネットワーク事務所(八幡台 3-4-8)

- ① 遠くにいる親をひきとりたい。介護保険は使えるかな。
- ② 老夫婦、介護保険をそろそろ使いたい。どうしたらいい?
- ③ 病院から退院。リハビリと日常生活をどうしたらいい?
- ④ ひとり暮らしだが、財産管理が不安。どうしたらいい?

映画「ザ・思いやり」+オスプレイ整備に関する議会報告

2/10 (金) 14:00~16:00

(13:45 受付) 無料

場所 八幡台公民館 和室

アメリカ人がつくった映画。米軍への思いやり予算をコミカルに具体的に知ることができます。

★当日、会場スペースに限りがあります。好評につき、別途、後日別会場でも企画できます。ご相談ください。



木更津市の「へえ〜」クイズ - 学校給食費 -

H10 年当時、学校給食は全小学校と中郷中だけ。H21 年 4 月に学校給食センターが 10 校分の給食を作り、小学校で近隣の中学の給食を作り配送するしくみ(親子式給食)ができ、小中学校の完全給食となりました。それ以来、自校分だけを調理するのは中郷中と富岡小だけです。さて、保護者から集金された学校給食費は何に使われているのでしょうか?

- ① 食材費
- ② 食材費の一部
- ③ 食材費と光熱費などのコストの一部

【答え】①です。児童生徒数が少ないと、食材費以外の一食あたりのコストは割高になります。H26 年度の実績は下記のとおり(公共施設再配置計画案の資料参照)

中郷中 2,801 円/食 ■ 富岡小 1,598 円/食 ■ 鎌足小・中 713 円/食 ■ 中郷小・西清小 631 円/食 ■ 馬来田小・中 467 円/食 ■ 岩根小・岩根西中 420 円/食 ■ 東清小・南清小 392 円/食 ■ 高柳小・岩根中 372 円/食 ■ 波岡小・畑沢中 328 円/食 ■ 祇園小・清川中 309 円/食 ■ 八幡台小・波岡中 300 円/食 ■ 学校給食センター 294 円/食

【つぶやき】月に一度、交差点で早朝挨拶をしている。この交差点、右折する車が多く渋滞する。毎回、一度はヒヤリとする場面に出会う。地域の自治会も、警察に要望を届けていた交差点だ ■ 市民ネットでは 2013.11.20 の 6:55~8:25 に実態調査。渋滞のピーク時には、黄色、赤と信号が変わりぎわ、無理やり右折するので危険。右折の信号機をと、実態調査結果を警察や派出所に届けている ■ 昨年 12 月、いつものように交差点で早朝挨拶。通りすがりの車から、寒いのに窓を開け「信号、なんとかしてー」の声。「はい。伝えてまーす」と私 ■ 事故が起きる前の対応を求む

(のりこ)

「市民ネットワーク通信」「議会速報」をそれぞれ年に 4 回発行しています。でも、市内全域の皆様にも、毎回お届けすることはできません。

毎回お読みになりたい方はご一報ください。 0438-36-0677(24 時間留守電対応)